

(様式 1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県総合運動公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市南中田

3 施設設置年度
平成 5 年度

4 設置目的
平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園

5 施設概要
敷地面積：46.0ha
主な施設
・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド`芝生舗装（106×70m）観客席約25,000人収容可能
・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース
・屋内グラウンド：6,354㎡
・芝生スポーツ広場：12,630㎡
・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡
・クロスカントリーコース：2.1km

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
659,124	690,456	769,460	782,158	813,445

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
20,238	21,394	25,205	26,652	29,160

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
19,591	19,591	23,175	23,175	23,984

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和5年度比104.0%(31,287人増)、有料公園施設の料金収入は令和5年度比109.4%(2,508千円増)となった。
・カタールレ富山J2昇格プレーオフ戦及びルヴァンカップの勝ち上がりによる試合数の増(5試合)や富山テレビ開局55周年記念「富山音楽花火フェス」の開催(数十年ぶりの大規模音楽イベントの開催)により、利用者が増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用料金支払いのキャッシュレス決済が可能になっている。
・第10回とやまPK選手権、第14回富山県50mダッシュ王選手権などのスポーツイベントを開催した。
・ツリーイング体験会やスタジアムDEフィットネスなどのイベントを開催した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。
・冬期間に人気が高い屋内グラウンドについては、12～2月に限り休園日も営業した。
・イベントのPRとして、SNSを活用したり、近隣商業施設へチラシを配布し掲示をお願いしたりした。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	イベント参加者及び公園利用者へのアンケート
回答者数	836人
結果	・園内の樹木に銘板があれば良いとの意見があった。
結果を踏まえた改善事項	樹木銘板を整備した。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・利用者、大会利用団体からの要望等をヒアリングした。
・利用団体との運営会議を実施した。
・近隣地区5自治会代表などで構成する利用促進協議会を開催した。
・園内3か所に意見箱を設置した。

③ 主な苦情と対応

・カタール戦ナイター試合での騒音苦情⇒カタールレ富山と協議し、21時30分以降の鳴り物応援を禁止することとし、次回開催日より適用した。
・カタール戦での路上駐車による苦情⇒富山県及びカタールレ富山と協議し、近隣施設や神通川河川敷などを臨時駐車場として対応した。また、観戦者が1万人を超える試合の場合は、公園駐車場を有料化した。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・陸上競技場をホームスタジアムとするカターレ富山の公式戦や各種競技大会等の開催を全面的に協力した。
- ・スポーツクラブ等と連携し、清掃ボランティアを受け入れた。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	－
無	－

【トラブルの具体的内容と対応】

－

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・武道競技の振興・競技力向上のため、新たに富山県武道館を整備することとなり、より一層、富山県のスポーツの中核施設となる。
・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。